



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社ZUU 上場取引所 東
コード番号 4387 URL <https://zuu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 富田 和成
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大井 賢治 TEL 03-4405-6102
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,030	△17.6	△76	—	△75	—	△100	—
2023年3月期第3四半期	2,463	7.2	50	—	52	—	31	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △112百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 3百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△21.24	—
2023年3月期第3四半期	6.70	6.69

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,684	1,242	31.4
2023年3月期	3,065	1,355	41.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,157百万円 2023年3月期 1,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△17.6	50	△76.3	51	△75.7	△46	—	△9.68
	～3,250	～△4.4	～350	～66.2	～351	～67.3	～162	～79.9	～34.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,749,860株	2023年3月期	4,749,860株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	224株	2023年3月期	224株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	4,749,636株	2023年3月期3Q	4,749,672株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、物価の高騰は先行きが見えてきており、年末需要も堅調で、インバウンド需要の増加、サービス・消費財への消費傾向が改善するなど景気は緩やかに回復基調にあります。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、株式会社電通発表の『2022年 日本の広告費』（2023年2月24日発表）によると、社会のデジタル化を背景に、好調な「インターネット広告費」の成長に市場全体が支えられ、日本の総広告費は前年比104.4%増の7.1兆円となり過去最高となりました。インターネット広告費は、継続的に高い成長率を維持しており、3兆円を超え広告市場全体の成長を後押ししております。

このような環境の中、当社グループはお客様や従業員の健康・安全を確保するとともに、経済を活性化させていくため、リモートワーク頻度の見直し、社内イベントのリアル開催等にも取り組んでいくとともに、「機会格差を解消し、持続的に挑戦できる世界へ」というパーパスの下、「ZUU online」等の自社メディアのユーザー層の拡大、及び他有力メディアとの連携、並びに金融トランザクションの拡大による提供サービス・商品ラインナップの強化やコンサルティング・サービスの受注効率の向上を目指しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,030,861千円（前年同四半期比17.6%減）、営業損失は76,283千円（前年同四半期は営業利益50,951千円）、経常損失は75,105千円（前年同四半期は経常利益52,209千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は100,872千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益31,809千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は添付資料2四半期連結財務諸表及び主な注記（セグメント情報等）の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(フィンテック・プラットフォーム事業)

検索エンジンのアルゴリズム変更の影響が長期化し、訪問ユーザー数が想定していた程伸びず、送客事業は伸び悩みました。その結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高1,205,858千円（前年同四半期比34.4%減）、営業損失は4,674千円（前年同四半期は営業利益217,540千円）となりました。

(フィンテック・トランザクション事業)

融資型クラウド・ファンディングは順調に成立案件が続き、また前連結会計年度に連結子会社化した株式会社ZUU Wealth Managementが主となり金融商品仲介業及び保険代理業が順調な伸びを示しました。一方で、株式投資型クラウド・ファンディングは案件数が伸び悩んだことから引き続きコストが先行する状況となり、PDCA関連サービス(注)については大口の受注も見られたものの新規受注件数が伸び悩みました。その結果売上高は825,003千円（前年同四半期比31.7%増）、営業損失は71,608千円（前年同四半期は営業損失166,589千円）となりました。

(注)：当社のPDCAノウハウを活用した組織マネジメントSaaSサービス「PDCA Cloud」およびPDCAノウハウによるコンサルティングサービス「PDCA Engineering」等をSMB中心に提供しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,320,877千円となり、前連結会計年度末に比べ594,842千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が188,713千円、売掛金が178,090千円減少した一方で、営業貸付金が919,000千円増加したことによるものであります。固定資産は363,822千円となり、前連結会計年度末に比べ23,902千円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が48,542千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,684,700千円となり、前連結会計年度末に比べ618,745千円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,223,397千円となり、前連結会計年度末に比べ627,846千円増加いたしました。これは主に匿名組合出資預り金が929,000千円増加したことによるものであります。固定負債は218,867千円となり、前連結会計年度末に比べ104,070千円増加いたしました。これは主に長期借入金が90,906千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,442,264千円となり、前連結会計年度末に比べ731,916千円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,242,435千円となり、前連結会計年度末に比べ113,171千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失100,872千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.4%（前連結会計年度末は41.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は概ね計画どおりに推移しており、2022年5月13日公表の業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,493,162	1,304,449
売掛金	421,409	243,318
仕掛品	3,393	3,470
営業貸付金	750,450	1,669,450
その他	62,692	105,261
貸倒引当金	△5,072	△5,072
流動資産合計	2,726,034	3,320,877
固定資産		
有形固定資産	25,792	46,822
無形固定資産		
のれん	107,874	90,841
その他	69	59
無形固定資産合計	107,944	90,901
投資その他の資産		
投資有価証券	55,000	55,000
敷金及び保証金	110,324	81,707
繰延税金資産	39,407	87,950
その他	1,450	1,440
投資その他の資産合計	206,182	226,098
固定資産合計	339,920	363,822
資産合計	3,065,954	3,684,700
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,712	41,642
1年内返済予定の長期借入金	25,992	93,192
未払金	172,744	183,182
未払法人税等	144,050	65,421
匿名組合出資預り金	750,450	1,679,450
その他	413,600	160,507
流動負債合計	1,595,551	2,223,397
固定負債		
資産除去債務	15,121	28,285
長期借入金	99,676	190,582
固定負債合計	114,797	218,867
負債合計	1,710,348	2,442,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	879,556	879,556
資本剰余金	887,149	888,695
利益剰余金	△504,220	△605,093
自己株式	△445	△445
株主資本合計	1,262,039	1,162,712
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,918	△5,349
その他の包括利益累計額合計	△3,918	△5,349
新株予約権	85,987	81,444
非支配株主持分	11,499	3,627
純資産合計	1,355,606	1,242,435
負債純資産合計	3,065,954	3,684,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,463,947	2,030,861
売上原価	714,134	746,771
売上総利益	1,749,813	1,284,090
販売費及び一般管理費	1,698,862	1,360,373
営業利益又は営業損失(△)	50,951	△76,283
営業外収益		
受取利息	7	10
為替差益	1,233	-
助成金収入	-	3,200
その他	437	103
営業外収益合計	1,678	3,313
営業外費用		
支払利息	29	1,556
為替差損	-	16
支払手数料	391	525
その他	-	37
営業外費用合計	420	2,136
経常利益又は経常損失(△)	52,209	△75,105
特別利益		
新株予約権戻入益	8,730	9,986
特別利益合計	8,730	9,986
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は 純損失(△)	60,940	△65,119
匿名組合損益分配額	12,120	41,708
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	48,819	△106,828
法人税、住民税及び事業税	43,239	4,720
法人税等合計	43,239	4,720
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,580	△111,548
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,229	△10,675
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	31,809	△100,872

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,580	△111,548
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,864	△1,430
その他の包括利益合計	△1,864	△1,430
四半期包括利益	3,715	△112,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,945	△102,303
非支配株主に係る四半期包括利益	△26,229	△10,675

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィンテック・ プラットフォーム	フィンテック・ トランザクション	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,837,491	626,456	2,463,947	-	2,463,947
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,570	2,090	4,660	△4,660	-
計	1,840,061	628,546	2,468,607	△4,660	2,463,947
セグメント利益 又は損失 (△)	217,540	△166,589	50,951	-	50,951

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィンテック・ プラットフォーム	フィンテック・ トランザクション	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,205,858	825,003	2,030,861	-	2,030,861
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	450	300	750	△750	-
計	1,206,308	825,303	2,031,611	△750	2,030,861
セグメント損失 (△)	△4,674	△71,608	△76,283	-	△76,283

- (注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度に金融商品仲介業及び保険代理業を営む株式会社ZUU Wealth Managementを連結子会社化したことに伴い、業績管理区分を見直して金融サービスを集約することとし、従来の報告セグメントのうち「クラウド・ファンディング事業」を「フィンテック・トランザクション事業」に含めるように変更し、報告セグメントを「フィンテック・プラットフォーム事業」及び「フィンテック・トランザクション事業」としております。

この変更により、従来の「クラウド・ファンディング事業」及び従来「フィンテック・プラットフォーム事業」に含めていた金融商品仲介業並びに保険代理業は、金融ライセンスサービスとして「金融トランザクション収益」とし、「フィンテック・トランザクション事業」に含めております。

また、従来「フィンテック・プラットフォーム事業」に含めていた「PDCA関連サービス収益」は、金融ソリューションサービスと位置付けて「フィンテック・トランザクション事業」に含めるように変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

（重要な後発事象）

（貸付型私募ファンドの組成）

当社は、2024年1月24日開催の取締役会において、当社グループの株式会社COOL SERVICES及び株式会社COOLによる貸付型私募ファンド（以下「本ファンド」）の組成を決議いたしました。

1. 背景及び目的

当社グループのソーシャルレンディング・サービス『COOL (<https://c8l.jp/>)』を運営する株式会社COOLは、不動産事業への貸付を中心とする貸付型ファンドの組成を手掛けてまいりました。今回、投資家に対するさらなる投資機会の提供と、借入人の新しい調達機会の創出を目的に、本ファンドの組成をいたします。

2. ファンド概要

（1）募集の概要

①	出資形態	匿名組合契約
②	出資単位	1口あたり 金50,000,000円 1口以上 1口単位
③	募集総額	15億円（30口）
④	募集期間	2024年1月25日～2024年2月5日
⑤	払込期日	2024年1月25日～2024年2月5日
⑥	運用期間	2024年2月6日～2025年2月6日
⑦	計算期間	2024年2月6日～2025年2月6日

（2）営業者

商号	株式会社COOL SERVICES
社名英記	COOL SERVICES INC
住所	東京都世田谷区太子堂2-8-7 太子堂ハイランドビル2F
設立	2016年02月01日
資本金	341,199 千円（資本準備金を含む）
登録番号	東京都知事（33）第31603 号
加入団体	日本貸金業協会 会員 第005946 号
信用情報機関	株式会社日本信用情報機構 TEL:0570-055-955
指定紛争解決機関	貸金業相談・紛争解決センター TEL:0570-051-051
事業内容	(1) 貸金業 (2) 集金、支払代行業務 (3) 通信販売業務 (4) 保証業務 (5) 債権買取り、譲渡およびファクタリング業務 (6) 前各号に関連する一切の事業
主要取引先銀行	三井住友銀行 京橋支店 みずほ銀行 銀座中央支店
代表取締役	伊藤 謙
関係会社	株式会社ZUU（東証グロース：4387） （株式会社COOL SERVICES の親会社）

(3) 募集取扱事業者

商号	株式会社COOL
社名英記	COOL INC.
住所	東京都世田谷区太子堂2-8-7 太子堂ハイランドビル2F
設立	2007年12月11日
資本金	316,000 千円 (資本準備金を含む)
登録番号	金融商品取引業：関東財務局長 (金商) 第2229 号
加入団体	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会 加入認定投資者保護団体 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター TEL:0120-64-5005
事業内容	(1) 第二種金融商品取引業 (2) 投資顧問契約に基づく助言 (投資助言・代理業)
主要取引先銀行	GMOあおぞらネット銀行 みずほ銀行 銀座中央支店
代表取締役	河原 克樹
関係会社	株式会社COOL SERVICES (株式会社COOL の親会社)

(4) その他の事項

本ファンドの融資先と当社グループは、資本関係、人的関係及び取引関係はありません。